



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年7月2日 第25号

発行者：校長 菅野 定行

防災体験学習 その1



避難訓練講評〈於：6月29日グラウンド〉

皆さんこんにちは、避難訓練お疲れ様でした。スムーズな避難ができたでしょうか。点呼までの時間は昨年度より3分短縮されました。皆さんの行動、立派だったと思います。

先日6月18日の朝に大阪北部地震が発生したことは皆さんもご存じでしょう。マグニチュード6.1、震度6弱の大きな地震でした。今日現在、人々の生活は元に戻りつつあるようですが、痛ましい事件も起きました。小学校のブロック塀が倒れ、登校途中の小学生が尊い命を失いました。このブロック塀は3年前に危険性が指摘され、市の教育委員会の職員が確認したものの「問題なし」と判断し、そのままにされたのだそうです。

私は高校生の時に、宮城県沖地震に遭いました。今回と同じようにブロック塀が倒れ、その下敷きになって亡くなった人が多数おりました。ですから、今回の大阪の事故を耳にし、驚きとともに大変残念な気持ちになりました。そのときの教訓がどうして活かされなかったのか。40年前に宮城で発生した事故を目の前の状況に当てはめ、被害をイメージできていれば、「問題なし」とは言えなかったのではないかと。

さて、西高の校門を入ってすぐ左側に「震災モニュメント」があります。震災で犠牲になった君たちの先輩9名、そして入学予定の2名の生徒の名前が刻まれています。これはその時の関係者の思いを忘れないために建てられたものだと思っています。

震災から7年が過ぎました。記憶は時間とともに薄れていきます。今後この記憶が途絶え、災害に無防備になることは避けなければなりません。本日の避難訓練、そしてこの後に続く防災体験学習は、災害へ備える知識・技術そして心構えを身

につけるための非常に重要な行事です。皆さんにとって貴重な一日になることを願います。

◇2年4組 和田 大樹 さん

今回の防災避難訓練を通してどこを通過して避難するか等災害が起きた時にどのように避難するかを確認できた。避難するときはできるだけ速く避難することが大切だと思う。今回は前回よりも3分速く避難できたことは良かったと思うが、私語が目立ったのが残念だった。本当に災害が起きたときにパニックにならないように真剣に取り組みたい。



〈1年生武道場でAED〉



〈1年生教室でなまずの学校〉

◇1年1組 岡田 和衛 さん

今回の防災体験学習を受けて一人一人の防災意識が高まったと思います。AED体験では、AEDの使い方、心臓マッサージの方法を教えていただき、みんながしっかりと救急隊員の方々の説明を聞き、真剣に取り組んでいました。なまずの学校では、防災協働委員が中心となってクイズに取り組みました。最初はルールに慣れずに戸惑っていましたが3回目くらいでやっと慣れてきて班ごとに協力して問題解決ができました。入学前から「防災教育の西高」は1年生みんなが意識していたと思いますので、「これで西高生になれた」という今回の防災体験学習は西高の1年生にとって特別なものになったと思いました。東松島市の救急隊の皆様、ご指導ありがとうございました。